

# 令和元年度石教研専門部会研究協議会事務職員部会 分散会記録まとめ

## ■柱1：各市町村が進める公費化に向けて、 どのように組織的実践に取り組んできたか

【恵庭】補助金を保護者負担軽減に繋げている学校も多い。予算が決まっているのでその枠内で支出内容を検討する。自分たちでとつくる予算という感じではない。以前は携わっていない事務職員が多かったが、連携会議で調査を入れていくことで、事務職員が携わる学校が増えてきている。

【石狩】教育予算要望では数多く項目をあげているが、断られるのを見越したうえで要望している。教科書改訂は4年に一回されるがその年は改訂に係る予算の追加配分もあるので出し続けることは有効だ。予算がなくても手をこまねいているわけにはいかない。要望様式を市教委が当局に説明しやすいように整理している。

【当新】地教委から予算要望は焦点化してほしいと言われている。以前はたくさん出していたが実現はされない。地教委から財政当局には、なかなか上がらない。以前は前年度要望した教材は購入しないといけなかった。

【千歳】保護者負担軽減は思いたったこと、出来るところをやっていくしかない。大きなことは中々難しいが、小さいなことは先生方に聞いたり連携会議等で交流していくけば出てくるものだ。小学校では公費で出しているが中学校では私費扱いであるものとか色々ヒントはあると思う。

【石狩】予算案の中で公費で負担するもの・保護者に負担してもらうものについて明記し区別している。

【当新】職員会議にて義務教育の無償化について話をしている。

【千歳】定額制プリンタの新機種導入に向けて使用枚数等の調査をおこなっている。市教委が導入を検討中。市単位で契約し、学校に導入の流れとなるかも、現在調査中で正確にどうなるかはわからない。

【石狩】定額制プリンタの値上がりが厳しい。現状のままだと維持が難しくなる。市単位でのプリンターの導入予定はなく、学校単位での契約である。

【江別】新プリンターを導入してもコストダウンの保証はない。予算に対する印刷関連費用の使用割合等、印刷経費の調査を継続し指標を作ることが大事。ICT化が近年進んでいる割に印刷量は減っていない。教員の意識改革も必要なのではないか。

【江別】教材選定については、つかさどるに代わったことからも今後は事務職員が関わらざるを得なくなってくる。資料を作成するようであれば、そこから何かを感じ取ることが大事である。

【江別】デモ機は早いし故障もないが、やはり紙を使いすぎる。資源の問題もあるし環境問題とからめていく必要がある

【石狩】財源確保のために定額制プリンターを導入したが、印刷にかかっていた金額としては、導入前よりも減額することができた。しかし、それが保護者負担軽減につながっているのかは分からぬ。また、導入前に比べて学校全体の印刷量が増え、紙の消費が著しい。

【恵庭】2台導入しているが、経費の削減だけが目的ではなく、カラー化による教育効果も重視している。

【千歳】定額制で印刷し放題に目を向けるのではなく、そもそも学校における配付プリントを減らすことが課題である。紙のコストを減らしてよりスマートな学校にできないだろうか。

【江別】定額制問題プリントについては使用料を家庭から徴収している。

【千歳】定額制問題プリントは、千歳市の中学校で使用しているが、市での負担は行っていない。

【当新】定額制問題プリントは、村がお金を出し、導入している。

【石狩】定額制問題プリントについては、大量の紙を使用するようになった。年間16万円（5教科）のコストがかかりるので、人数が多い方が得になる。

【江別】定額制問題プリントについては、学力向上や働き方改革を利用し予算要望するのがよい。

## ■柱2：資料（データ）の蓄積・発信の定着から連携する取組について

【恵庭】「事務だより」については、若い人にとって発行自体が自分自身の勉強にもなるため、作成するのもよいと思う。

【江別】毎月執行状況報告をしている（4月は前任者の決算をうけて、予算の使い方報告）。やっていることを職員会議で話して可視化している。

【江別】「事務だより」は、通常の仕事を覚えていかないといけないことから、中々出来ないが、自分が発行するならもうちょっと勉強してからとなるので2～3校目となるのではないか。

【千歳】保護者アンケートについては、紙でのアンケートを行っており、今後QRコードでのアンケートを考えている。

【江別】アンケートをホームページで行ったことがある。回答はホームページ記載のメールでもよいとしたところ7～8割の回答となり、紙での回答は10枚程度であった。

【当新】「事務だより」でPTA会費、生徒会費、配分予算、集金はどのくらいかを一括提示して保護者負担について理解してもらうようにしている。

【北広島】校内の会計担当者会議へ参加し、事前に公費負担する物について提案している。北広島では市全体で教職員向け事務だよりを発行しているため、それによって教員へアプローチしている。

【当新】保護者アンケートを行いたいと考えている。そのためにはまず、保護者向け「事務だより」を発行し、学校予算がどのように使われているのかを知ってもらうことが重要と考える。各校の取り組むべき課題の見える化と、達成できたこととさらに改善すべきことを明確にする。公費化共通項目の明記→市全体として組織的で確実な公費化につながる。

【江別】事務職員向けに市全体として公費化に向けた課題を明記した文書を発行し、各校で教職員に対して公費化済みの教材項目を確実に周知する文書を作成している。

【千歳】本来は無償であるべきだが、学校予算が足りないために保護者からお金を徴収しているため、学校に配分されている予算や執行の仕方などを知らせる必要がある。

市内全学校の公費化状況を細かい項目に分けて明記した資料の作成をおこない、他の学校との比較により自校の改善にもつながっている。

【千歳】4月の教材購入計画が出てから、事務で公費化できるものを検討する。保護者へ学校徴収金についてアンケートを行っていることで教員の意識改革にもつながっている。